社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金　　中間評価書

令和２年９月４日

計画の名称	計画的な施設の改築更新による安全・安心なサービスの提供	重点配分対象の該当	
計画の期間	平成２８年度　～　令和２年度　（５年間）	交付対象	豊田市

計画の目標

都市の浸水対策及び下水道施設のストックマネジメントを行うことにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、災害に強いまちづくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道管路における長寿命化対策実施率を13%(H27末)から23%(R2末)に増加させる。
②雨水貯留施設等設置基数率を0%(H27末)から100%(R2末)に増加させる。
③中部ポンプ場の改築・更新実施率を0%(H27末)から50%(R2末)に増加させる。
④災害用便槽設置率を14%(H27末)から31%(R2末)に増加させる。
⑤公共下水道雨水管路の地震対策実施率を12%(H27末)から100%(R2末)に増加させる。
⑥秋葉1号汚水幹線の地震対策実施率を0%(H27末)から81%(R2末)に増加させる。
⑦ストックマネジメント計画に基づいた汚水管路の点検調査実施率を0%(H27末)から41%(R2末)に増加させる。
⑧ストックマネジメント計画に基づいた汚水ポンプ施設の更新実施率を0%(H27末)から17%(R2末)に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H28当初）	中間目標値（H30末）	最終目標値（R2末）	備考
①下水道管路における長寿命化対策実施率 長寿命化対策済みの管路延長（km）／長寿命化対策すべき管路延長（km）	13% 13%	18% 18%	23%	上段（赤）：実績 下段（黒）：計画
②雨水貯留施設等設置基数率 雨水貯留施設等の設置済数（基）／雨水貯留施設等の設置計画数（基）	0% 0%	28% 60%	100%	
③中部ポンプ場の改築・更新実施率 改築・更新が行われている施設数／改築・更新すべき施設数	0% 0%	50% 50%	50%	
④災害用便槽設置率 災害用便槽設置済数（箇所）／災害用便槽設置計画数（箇所）	14% 14%	22% 31%	31%	
⑤公共下水道雨水管路の地震対策実施率 地震対策済の管路延長（m）／地震対策をすべき管路延長（m）	12% 12%	100% 100%	100%	
⑥秋葉1号汚水幹線の地震対策実施率 地震対策済の管路延長（m）／地震対策すべき管路延長（m）	0% 0%	3% 3%	81%	
⑦ストックマネジメント計画に基づいた汚水管路の点検調査実施率 点検調査実施済の管路延長（km）／点検調査を実施すべき管路延長（km）	0% 0%	14% 14%	41%	
⑧ストックマネジメント計画に基づいた汚水ポンプ施設の更新実施率 改築・更新が行われている施設数／改築・更新すべき施設数	0% 0%	0% 17%	17%	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	A	B	C	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）
	2,273百万円 3,639百万円	2,212百万円 3,578百万円	0百万円	61百万円 63百万円	3% 2%

事　後　評　価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
豊田市上下水道局（下水道建設課、下水道施設課）	令和２年９月
	公表の方法 豊田市ホームページで公表

１．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A　下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R2	全体事業費（百万円）	備考
A07-001	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（汚水）	改築	下水道（汚水）管路改築	長寿命化対策 L=5,017m	豊田市						391 619	
A07-002	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（汚水）	改築	下水道（汚水）管路改築	ストックマネジメント L=4,800m	豊田市						0 712	
A07-003	下水道	一般	豊田市	間接	民間	管渠（雨水）	新設	雨水貯留施設等設置	設置補助　貯留槽 N=250基	豊田市						2 10	
A07-004	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	ポンプ場	改築	中部ポンプ場（浸水）	改築・更新工事 雨水ポンプ、ポンプ棟ほ	豊田市						929 908	
A07-005	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（汚水）	新設	災害用便槽設置	災害用便槽設置 N=6基	豊田市						17 34	
A07-006	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（雨水）	改築	下水道（雨水）管路改築	耐震補強 L=553m	豊田市						750 720	
A07-007	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	－	改築	ストックマネジメント（汚水・雨水）	ストックマネジメント 計画策定・調査	豊田市						36 40	
A07-008	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（汚水）	改築	下水道（汚水）管路改築	地震対策 L=371m	豊田市						37 365	
A07-009	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	管渠（汚水）	改築	下水道（汚水）管路改築	ストックマネジメント 点検・調査　L=186km	豊田市						50 158	
A07-010	下水道	一般	豊田市	直接	豊田市	ポンプ場	改築	下水道（汚水）施設改築	ポンプ場及びマンホール ポンプの機器更新	豊田市						0 12	
													合計			2,212 3,578	

B　関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R2	全体事業費（百万円）	備考
													合計			0	

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R2	全体事業費（百万円）	備考
C07-001	下水道	一般	豊田市	直接	－	－	新設	災害用便槽整備	仮設トイレ及びテントの購入　N=6基	豊田市						1 3	
C07-002	下水道	一般	豊田市	直接	－	－	新設	内水ハザードマップの作成	内水ハザードマップの作成	豊田市						60 60	
													合計			61 63	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C07-001	仮設トイレやテント等の資機材を整備することにより、災害時における避難場所の衛生環境を確保できる。	
C07-002	内水ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。	

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

・都市の浸水対策、下水道施設の地震対策及び長寿命化対策を行うことで、市民に安全・安心で快適な暮らしを提供し、災害に強いまちづくりに下水道が寄与している。

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標①（下水道管路における長寿命化対策実施率）	中間目標値	18%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り下水道管路（汚水）の長寿命化対策を行い、目標値を達成することができた。
	中間実績値	18%		
指標②（雨水貯留施設等設置基数率）	中間目標値	60%	目標値と実績値に差が出た要因	本事業は雨水貯留浸透施設の設置により、雨水の流出抑制及び雨水の有効利用を図る者に対して費用の一部を補助するものであるが、申請が予定よりも少なかったため、当初計画よりも進捗が遅れた。
	中間実績値	28%		
指標③（中部ポンプ場の改築・更新実施率）	中間目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通りポンプ場の改築更新を行い、目標値を達成することができた。
	中間実績値	50%		
指標④（災害用便槽設置率）	中間目標値	31%	目標値と実績値に差が出た要因	計画を見直した結果、災害用便槽設置を別事業として行ったため、当該補助事業としての実績値を下回ることとなった。
	中間実績値	22%		
指標⑤（公共下水道雨水管路の地震対策実施率）	中間目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り雨水管路の耐震対策を行い、目標値を達成することができた。
	中間実績値	100%		
指標⑥（秋葉１号汚水幹線の地震対策実施率）	中間目標値	3%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り汚水幹線の耐震対策を行い、目標値を達成することができた。
	中間実績値	3%		
指標⑦（汚水管路の点検調査実施率）	中間目標値	14%	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り点検調査を行い、目標値を達成することができた。
	中間実績値	14%		
指標⑧（汚水ポンプ施設の更新実施率）	中間目標値	17%	目標値と実績値に差が出た要因	計画を見直し、令和２年度に実施する予定。
	中間実績値	0%		

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

特になし

３．特記事項（今後の方針等）

・浸水対策や下水道施設の改築・更新により災害に強いまちづくりを目指す本計画については、円滑に事業が進んでおり、目標を概ね達成することができた。
・今後はストックマネジメント計画及び総合地震対策計画に基づいて、計画的かつ段階的整備を行い、早期に効果の発現を目指していく。